

# 奈良・人と自然の会

私たちは大和の自然を愛します。

楽しく！明るく！元気に！

# ご挨拶

「ならやま里山林整備事業」は、平成19年4月、奈良県の募集に応じて、「歴史的風土特別保存地区」「第一種風致地区」に指定された県有地の里山の景観形成の事業です。対象となる7.33haの里山は、長年手入れをされないまま放置されて荒廃していましたが、辛うじて残った貴重な里山の生物も観察されています。奈良市の北部に位置し、市街地に囲まれながら、いまだに里山の面影が残る貴重な場所です。

平成20年に、「三井物産環境基金」から3年間にわたる助成が決定しましたが、これが起爆剤となって事業は軌道に乗りました。活動の輪は地域住民にも広がり、初年度に延べ460人だった参加人数は、22年度には2200人に達しようとしており、マンパワーを背景に、当初の計画は今年度末で完全達成できる見通しとなっています。

過去4年間の活動の実績を通じて、行政との信頼関係が確立され、地域との具体的な協力の形が進展するなど、「市街地における里山」を地域社会の協力で維持するという事業の最終目的に向かって、確かな第一歩を踏み出すことができたと考えています。

今、我々の里山にも「ナラ枯れ」の脅威がすぐそばまで迫っています。行政、研究機関、地域のボランティアグループと連携しつつ、健全な里山の維持に向けて、さらなる一步を踏みださなくてはなりません。各位の変わらぬご支援を切にお願いいたします。

# 会の目的

奈良県における自然環境の保全と

自然環境教育の実践を通じて、

会員間の親睦と地域社会に貢献する。

NPOシニア自然大学校 地域組織

# 奈良・人と自然の会

- ◇平成13年9月設立 会員131名
- ◇奈良県下の自然観察会や講演会、
- ◇国有林の間伐整備
- ◇自然環境教育の体験学習や啓蒙
- ◇ならやま里山林整備事業(ならやまプロジェクト)  
平成19年4月スタート。  
平成20年度から現在までの3年間にわたり、三井物産環境基金より助成を受けている。

# 「ならやまプロジェクト」の事業内容

「平城宮跡歴史的風土特別保存地区、第1種風致地区」にある県有地(7.33ha)の景観形成事業のことです。

## 《活動項目》

- ◇里地・里山林の景観復活、維持保全に関する活動
- ◇この地の自然の中での 青少年環境教育 の実施
- ◇地域の住民との協働、学校との連携
- ◇菜の花プロジェクト、有機農法による循環資源の試行

具体的には …

- ① 水田、畑の復旧、竹林・里山林の整備、  
自然観察路の設置
- ② 生物調査（草本、木本、昆虫、水生生物、  
野鳥）樹木調査
- ③ 多様な生物の生息地への回帰、ビオトープ
- ④ 放棄ゴミの撤去、植栽などの景観形成
- ⑤ 樹木チップ、堆肥、厩肥による有機農法
- ⑥ 自然を活用した環境教育 里山の自然体験、  
農事体験、各種イベント実施

# 平城宮跡歷史的文化的風土特別保存地区

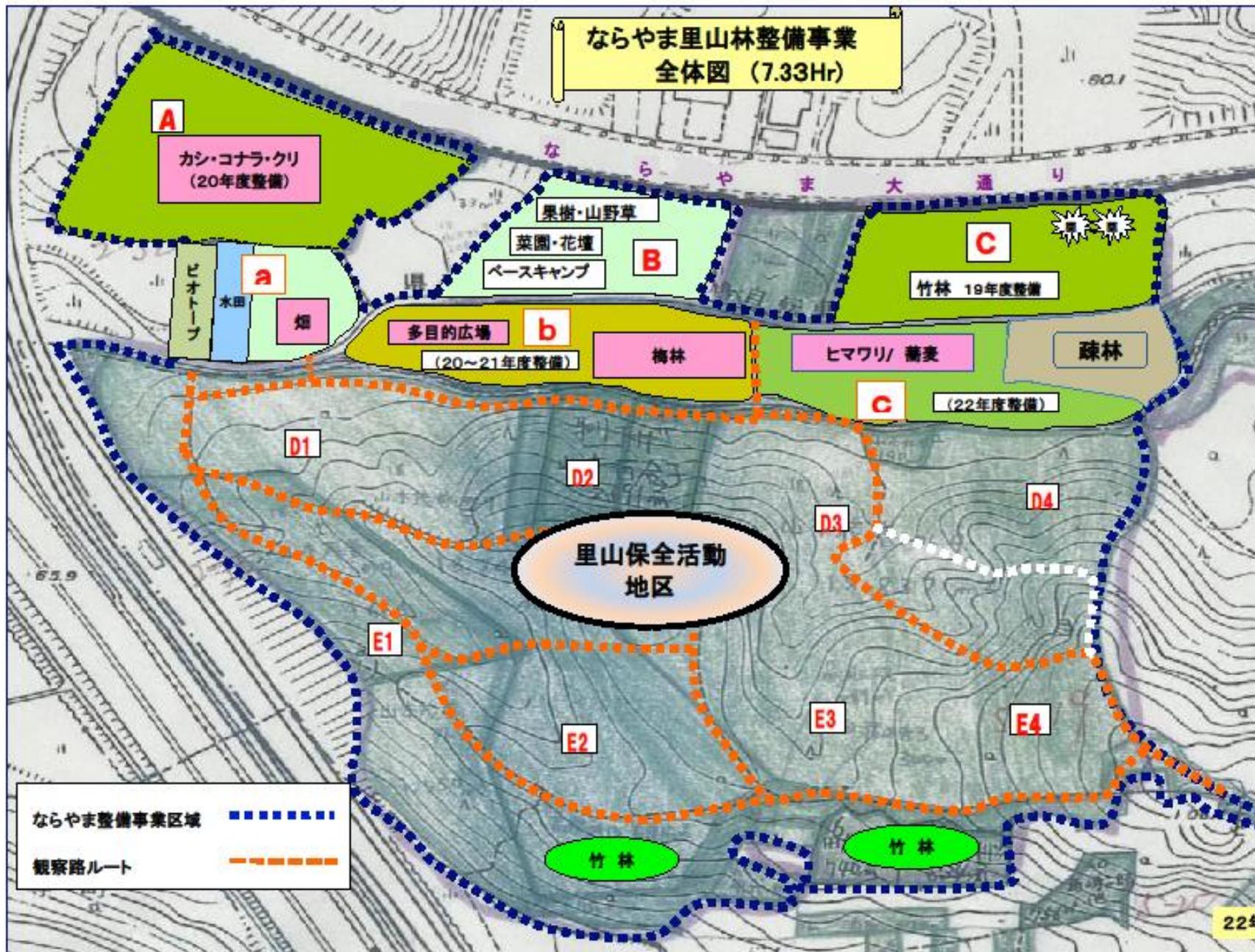




ならやまプロジェクト現地の 航空写真 1979年撮影

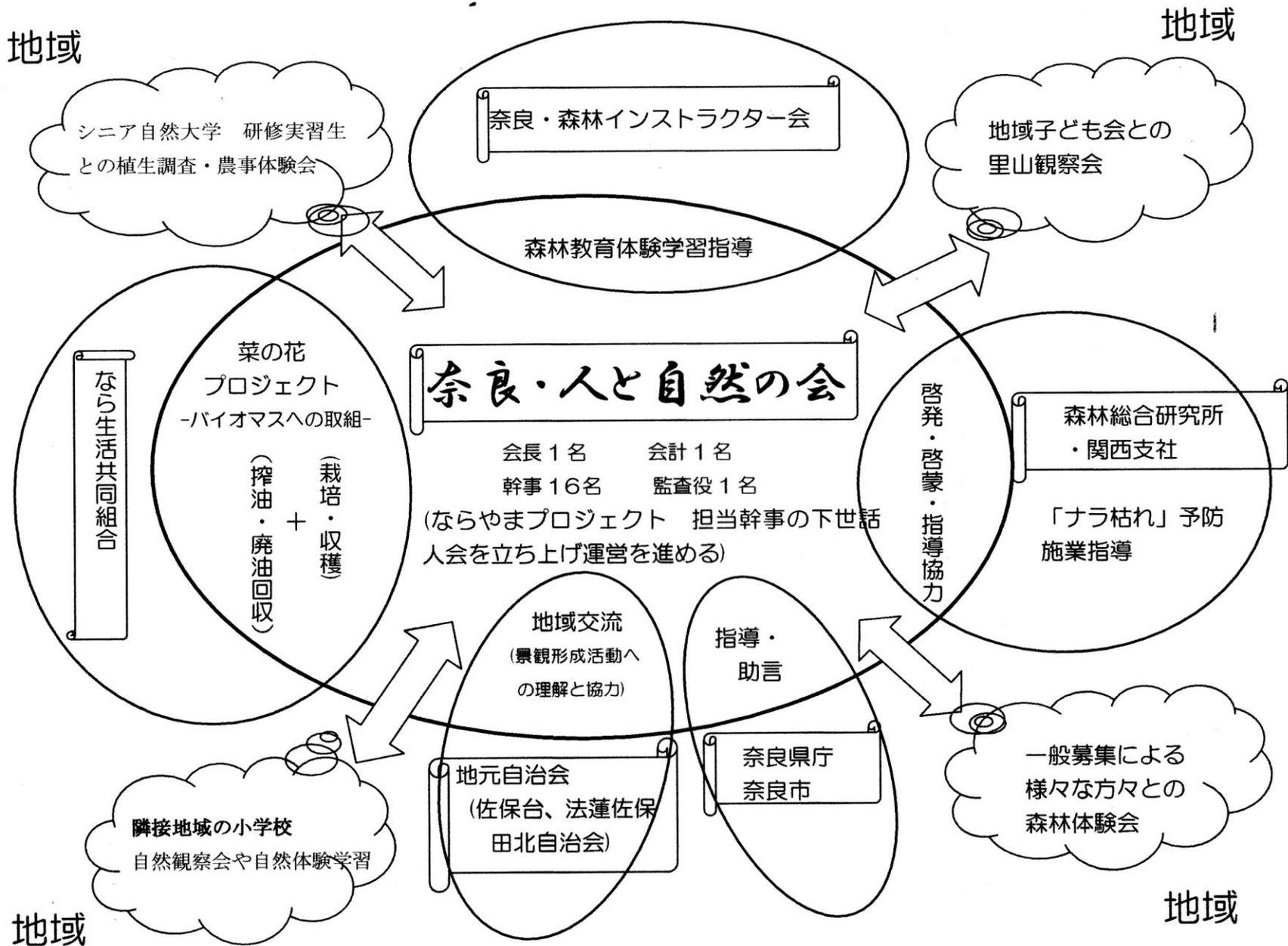


ならやま里山林整備事業  
全体図 (7.33Hr)





# 活動関連図





# 着手前のA地区(19年2月)



着手時の状況①

田圃跡は3~4メートルの笹の藪



## 当初の状況② 雑草に覆われる湿地



### 当初の状況③ 倒木だらけの里山林



# 拡大した暴走竹林 ④ (A地区)



# 里山の生物① オオタカの営巣



## 里山の生物② ササユリ



# 着手1年目① 畑の復活 隣の笹藪には まだ手つかず



## 着手1年目② 自転車道路沿いのコスモス 貧弱であった



# 着手2年目① 笹藪に挑戦する



## 着手2年目② 3~4mのササを刈る



# 着手2年目③ B地区 笹を刈り進むと



# 捨てられたゴミの山が ④



# 笹藪刈り1年 笹の山 (20年11月)⑤



2008.11.30

# 笹藪刈り2年目⑥

あと少しとなった笹群落



# 刈った笹が一面に横たわる ⑦



# 2年目 笹群2/3が終了⑧



# ベースキャンプ秋の風情



2008.12.20

# 40年前の田圃の姿が見えてくる ⑨



# 集めた笹は粉碎し牛糞と混ぜ堆肥にする⑩（平成21年5月）



a地区に菜の花が満開

(菜の花プロジェクト (21年4月))



# 笹藪跡地にはヒマワリが・・・（21年7月）



# 里山の整備①

アカマツは壊滅的！ 枯れたアカマツの伐採



# 里山の樹木調査② (A地区5253m<sup>2</sup>)



# A地区山地 不法侵入のタケは皆伐 ③



# 腐生植物 タシロランを発見（絶滅危惧種）



# 水田の復活に取り掛かる① 21年2月



# 水田に水を張る② 21年3月



# 田植えを待つ水田③



# 佐保台小学校田植え授業④ (21年5月)



佐保台小学校 田圃の観察⑤ (21年7月)



# 佐保台小学校5年の稲刈り授業⑥ 21年10月



# 里山での公開イベント 椎茸作り (21年3月)



# 椎茸作り ② (21年3月)



# 里山の公開イベント③ 「ならやま昆虫観察会」



# 第1期ビオトープ① (22年4月)



# ビオトープ北側の湿地観察路②

(22年5月)



# 水生生物定期調査を開始③（22年6月）



復元した田圃にミズオオバコ(奈良県希少種)



# 22年6月18日確認された水棲動物・昆虫

- カワニナ、サカマキガイ ドジョウ、ニホンアマガエルのオタマジャクシ
- アオイトトンボとシオカラトンボ類の幼虫  
マツモムシ、オオミズムシ、コミズムシ、チビミズムシ
- アメンボ、カタビロアメンボ、イトアメンボ
- ガムシの幼虫、オオミズスマシ、フタバカゲロウの幼虫

アキアカネ(幼虫→成虫)、ヒメアメンボ、オオミズムシ



# 順調！ ならやまプロジェクト進捗中

## 三井物産環境基金 の助成で 活動はパワーアップ

### ☆参加人数は年々の増加

初年度460人→2200人に（22年度の延べ参加人数見込み）

### ☆地域住民の自主的な参加・加入

活動への参加者の1/3以上が、地元からの新規参入者

### ☆行政との意思疎通と信頼確保（報連相の徹底）

景観整備のモデルケースとして発表（22年11月近畿知事会）

### ☆シニア世代の経験を生じて人材生き生き

国有林整備、里山整備、有機農業実践、里山生物調査、自然観察会、体験学習会、蕎麦文化クラブなど 活動を多方面に展開中

# 22・11・11 ならやまの実りの秋の風景



# 景観整備 今後の活用

- 1、歴史的文化的風土特別保存地区 をふまえた上で  
地域の人に歓迎され、ともに支える場所とする。
- 2、森林環境教育・体験学習 の場所としての利活用。
- 3、豊かな生態系を持つ「市街地の里山」  
市民への啓蒙と、環境メッセージの発信の場所。
- 4、シニア世代の「健康で生き生き活躍する場所」  
「自由で主体性ある社会貢献の場所」づくり。

奈良・人と自然の会

◇自然の景観が美しいと感じられる一帯は  
その場所の環境が守られている証左です！

「明るく！元気に！楽しく！そして無理せず」

これからも活動を続けていきます。

奈良・人と自然の会